

業務システム向けFAXサーバーソフト スターファクス サーバー エスディーケー

STARFAX[®] ***Server SDK***

VB 開発向け

プリンタ ドライバ・ビューア

プログラミング&リファレンス

はじめに

本書は、STARFAX Server SDK のプリンタドライバとビューアプログラムの仕様のご説明と、それらを利用するユーザープログラムの作成方法をご説明しています。

なお、本書は、Visual Basic 6.0(※) を開発ツールとしてプログラムを作成する方を対象としています。本書をお読みになる前に、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」をお読みいただき、STARFAX Server SDK の動作をご理解していただくようお願いいたします。

※ VB.NET2003 向けのサンプルを別途用意しています。これは、VB6.0 のサンプルプログラムをコンバートし、単純なコンバートでは問題のある箇所に修正を加えたものです。

なお、本書中の記述で VB.NET2003 サンプルプログラムの収録フォルダについては、「VB6 SP6」を「VB.net 2003」と読み替えてください。

■ ご注意

本書に登場するシステム名・製品名は、一般に開発メーカーの登録商標です。

本書の構成について

本書は、次のような内容で構成されています。

- 第 I 章 ユーザープログラムの開発について
- 第 II 章 サンプルプログラム
- 第 III 章 リファレンス

まずは、第 I 章に開発の手順等をご説明していますので、第 I 章をご覧になってから第 II 章にお進み下さい。

第 III 章 リファレンス には、プリンタドライバとビューアプログラムの仕様についてご説明しています。

目次

はじめに	1
本書の構成について	1
第 I 章 ユーザープログラムの開発について		
1.1 開発の手順	4
第 II 章 サンプルプログラム		
2.1 印刷結果の F A X 送信 ... (PrtCli.exe)	6
2.1.1 印刷結果を得る	8
2.1.2 印刷結果を表示する	10
2.2 TIFF ファイルの作成と F A X 送信 ... (PrtCli2.exe)	12
2.2.1 印刷結果を得る	13
2.2.2 印刷結果を表示する	19
第 III 章 リファレンス		
3.1 プリンタドライバの仕様	22
3.2 ビューアプログラムの仕様	23

第 I 章

ユーザープログラムの開発について

ユーザープログラムの開発の手順についてご説明しています。

1.1 開発の手順

1.1 開発の手順

STARFAX Server SDK を操作するユーザープログラムは、STARFAX Server SDK が動作していることが前提です。従って、ユーザープログラム開発を行う前に STARFAX Server SDK 本体のインストールを行い、その操作を簡単に理解しておく必要があります。

それらを考慮して、以下の手順でユーザープログラム開発を行うことをお奨めします。

① 「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」をお読みください。

- STARFAX Server SDK 本体のインストールを行って下さい。
- 基本的な操作を理解してください。

② 第Ⅱ章 サンプルプログラム を学習してください。

- サンプルプログラムは2種類用意しています。

- ◇ ワード・エクセル等のアプリケーションからFAX送信したい場合
→ 印刷結果のFAX送信 (PrtCli.exe)

ワード・エクセル等のアプリケーションから手動で印刷後、プリンタドライバからユーザープログラムが起動されます。

- ◇ ユーザープログラムからFAX原稿を作成して、FAX送信したい場合
→ TIFF ファイルの作成とFAX送信 (PrtCli2.exe)

ユーザープログラムがプリンタドライバを制御して印刷結果(TIFF ファイル)を取得します。

- 各サンプルプログラムの説明は次の各項をご覧ください。

2.1 印刷結果のFAX送信 ... (PrtCli.exe)

2.2 TIFF ファイルの作成とFAX送信 ... (PrtCli2.exe)

③ ユーザープログラムを作成してください。

- ①～② を踏まえて、ユーザープログラムの作成・テストを行って下さい。

第Ⅱ章

サンプルプログラム

プリンタドライバとビューアプログラムを利用するサンプルプログラムです。

- 2.1 印刷結果のFAX送信 ... (PrtCli.exe)
- 2.2 TIFF ファイルの作成とFAX送信 ... (PrtCli2.exe)

2.1 印刷結果の F A X 送信 ... (PrtCli.exe)

印刷結果の F A X 送信プログラム【PrtCli.exe】は、印刷結果の表示と FAX 送信を行うサンプルプログラムです。本 CD-ROM の以下の位置に入っています。ワード・エクセル等のアプリケーションから手動で印刷後、プリンタドライバからユーザープログラムが起動されます。

¥サンプル¥B6 SP6¥PrtCli.exe ... 印刷結果の F A X 送信プログラム
¥サンプル¥B6 SP6¥PrtCli¥ ... 印刷結果の F A X プログラム 開発プロジェクト

主な、仕様、及び、操作方法は以下の通りです。

- ① STARFAX Server SDK を起動します。
(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」P21 参照)
- ② 以下のプリンタドライバの動作に関するレジストリを指定します。
 - HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥MEGASOFT¥SfCs¥OutFolder ... ファイル出力フォルダ
文字列項目で、任意の作業フォルダを作成して指定します。
(例: "C:¥Program Files¥SfCs¥Temp")
 - HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥MEGASOFT¥SfCs¥DocName ... ドキュメント名
文字列項目で、このサンプルプログラムの場合、任意の文字列を指定します。
(例: "SFCSPRN")
 - HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥MEGASOFT¥SfCs¥ExecFlag ... プログラム実行フラグ
DWORD 項目で、1 を指定します。
 - HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥MEGASOFT¥SfCs¥ExecPath ... プログラムパス
文字列項目で、PrtCli.exe をフルパスで指定します。
(例: "C:¥Program Files¥SfCs¥PrtCli.exe")
 - HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥MEGASOFT¥SfCs¥ExecParam ... 追加パラメータ
文字列項目で、何も指定していない状態("")を設定します。

(詳細は 3.1 プリンタドライバの仕様 をご覧下さい。)

- ③ 印刷可能な適当なアプリケーション(ワード等)から プリンタ名 "MEGASOFT STARFAX Engine" に対して印刷を行うと 印刷結果の F A X 送信プログラム【PrtCli.exe】が起動して、印刷結果が送信する内容として指定された状態になります。

- ④ 表示(V)ボタンを押して、印刷結果の内容を確認します。
- ⑤ FAX送信(S)ボタンを押して、FAX送信を行います。(これでプログラムは終了します。)
この後、FAX送信が正常に動作していない場合は、STARFAX Server SDK ログ管理プログラムでイベントの内容を確認して下さい。
(FAX送信は、STARFAX OCX の FAX送信コントロール [SFCSSendFax] を使用しています。
詳細は、「STARFAX Server SDK VB 開発向け OCX リファレンスマニュアル」の 2.1 FAX送信
コントロール [SFCSSendFax] をご覧下さい。)
-

2.1 印刷結果のFAX送信 ... (PrtCli.exe)

2.1.1 印刷結果を得る

プリンタドライバで印刷した結果を得る方法を、印刷結果のFAX送信プログラム開発プロジェクトのソースファイルを元にご説明します。

印刷結果のFAX送信プログラム【PrtCli.exe】の仕様、および操作方法については、*2.1 印刷結果のFAX送信* をご覧下さい。

開発プロジェクトは、本CD-ROMの以下の位置に入っています。

¥サンプル¥VB6 SP6¥PrtCli¥ ... 印刷結果のFAX送信プログラム 開発プロジェクト

■ 印刷結果を得る

プリンタドライバが印刷終了時に、印刷結果(TIFFファイル)をパラメータとして、ユーザープログラムを起動することにより、ユーザープログラムは印刷結果を得ることができます。そしてプリンタドライバが起動するプログラムは、レジストリに登録します。(レジストリの設定の詳細は *3.1 プリンタドライバの仕様* をご覧下さい。)

Form1. frm :

Command() でプリンタドライバより渡された印刷結果(TIFF ファイル)を取得しています。

2.1 印刷結果のFAX送信 ... (PrtCli.exe)

2.1.2 印刷結果を表示する

印刷結果(TIFF ファイル)を表示する方法を、印刷結果のFAX送信プログラム 開発プロジェクトのソースファイルを元にご説明します。

印刷結果のFAX送信プログラム【PrtCli.exe】の仕様、および操作方法については、*2.1 印刷結果のFAX送信* をご覧下さい。

開発プロジェクトは、本CD-ROMの以下の位置に入っています。

¥サンプル¥VB6 SP6¥PrtCli¥ ... 印刷結果のFAX送信プログラム 開発プロジェクト

■ 印刷結果を表示する

ビューアプログラム 起動時に、コマンドラインパラメータに表示させたいファイルを” 囲みで指定して起動することにより、印刷結果(TIFF ファイル)を表示することができます。

(起動時のコマンドラインパラメータの詳細は *3.2 ビューアプログラムの仕様* をご覧下さい。)

Form1.frm :

```
'*****  
' 表示ボタン: クリック  
'*****  
  
Private Sub CommandVIEW_Click()  
  
    Dim strViewExeName, strViewComand, strViewPath As String  
    Dim strInstall As String  
  
    '/////////////////////////////////////  
    '// ビューア呼び出し  
  
    If SFCSEnv1.GetSfcsFolder(strInstall) = SFCSENV_SUCCESS Then  
        strViewExeName = "%SfcsVw.exe"  
        strViewComand = " /T ビューア "  
        strViewPath = Chr$(34) & strInstall & strViewExeName & Chr$(34) & strViewComand & Chr$(34) & s_strFileName & Chr$(34)  
        Call Shell(strViewPath, vbNormalFocus)  
    End If  
  
End Sub
```

2.2 TIFF ファイルの作成と F A X 送信 ... (PrtCli2. exe)

TIFF ファイルの F A X 送信プログラム [PrtCli2. exe] は、TIFF ファイルの作成 と FAX 送信を行うサンプルプログラムです。本 CD-ROM の以下の位置に入っています。ユーザープログラムがプリンタドライバを制御して印刷結果 (TIFF ファイル) を取得します。

¥サンプル¥VB6 SP6¥PrtCli2. exe ... TIFF ファイルの F A X 送信プログラム

¥サンプル¥VB6 SP6¥PrtCli2¥ ... TIFF ファイルの F A X 送信プログラム 開発プロジェクト

主な、仕様、及び、操作方法は以下の通りです。

- ① STARFAX Server SDK を起動します。
(STARFAX Server SDK の起動は、「STARFAX Server SDK セットアップマニュアル」 P21 参照)
 - ② PrtCli2. exe を起動します。
 - ③ 「操作 1」の下欄に FAX 原稿に表示させる文字を入力します。
 - ④ 「①FAX 原稿の作成」 ボタンをクリックします。
(作成するファイル名を任意指定したい場合は、[指定] ラジオボタンをクリックして、ファイル名を入力してください。)
 - ⑤ 「②FAX 原稿の表示」 ボタンをクリックすると、作成された FAX 原稿がビューアで表示されます。
 - ⑥ 「操作 3」の下欄に送信先の FAX 番号を入力します。
 - ⑦ 「FAX 送信」 ボタンをクリックします。
この後、FAX 送信が正常に動作していない場合は、STARFAX ログ管理プログラム でイベントの内容を確認して下さい。
(FAX 送信は、STARFAX OCX の FAX 送信コントロール [SFCSSendFax] を使用しています。
詳細は、「STARFAX Server SDK VB 開発向け OCX リファレンスマニュアル」の 2.1 FAX 送信コントロール [SFCSSendFax] をご覧下さい。)
-

2.2 TIFF ファイルの作成と F A X 送信 ... (PrtCli2.exe)

2.2.1 印刷結果を得る

プリンタドライバで印刷した結果を得る方法を、印刷結果の F A X 送信プログラム開発プロジェクトのソースファイルを元にご説明します。

TIFF ファイルの作成と F A X 送信プログラム【PrtCli2.exe】の仕様、および操作方法については、[2.2 TIFF ファイルの作成と F A X 送信](#) をご覧下さい。

開発プロジェクトは、本 CD-ROM の以下の位置に入っています。

¥サンプル¥VB6 SP6¥PrtCli2¥ ... TIFF ファイルの作成と F A X 送信プログラム 開発プロジェクト

■ 印刷結果を得る

プリンタドライバが印刷終了時に、印刷結果(TIFF ファイル)を「ファイル出力フォルダ」に出力するので、このフォルダを参照することで、ユーザープログラムは印刷結果を得ることができます。そして、それらの制御を STARFAX OCX の FAX 送信コントロール [SFGSSendFax] が行います。

Form1.frm :

```
'*****  
' [① FAX原稿の作成]ボタン: クリック  
'*****  
  
Private Sub CommandPRINT_Click()  
  
    Dim iRet  
    Dim objPr As Object  
    Dim iPNum As Integer  
    Dim iPages As Integer  
    Dim lPageWidth As Long  
    Dim lPageHeight As Long  
    Dim lPageXres As Long  
    Dim lPageYres As Long  
    Dim iColor As Integer  
    Dim strNAMESET As String  
    Dim strExist As String  
    Dim iRes As Integer  
    Dim lRet As Long  
  
    '-----  
    ' 作成する TIFF ファイル名の確認  
  
    strNAMESET = ""  
  
    ' TIFF ファイル名 ( 0:自動, 1:指定 )  
    If s_lTiffFileNameMode = 1 Then  
        strNAMESET = TextNAMESET.Text  
        If strNAMESET = "" Then  
            MsgBox "TIFF ファイル名を指定してください", vbCritical, s_cstTITLE  
            Exit Sub  
        End If  
        strNAMESET = strNAMESET + ".TIF"  
        strExist = s_strPgmData + "¥" + strNAMESET  
        If Dir(strExist) <> "" Then  
            iRes = MsgBox("指定された TIFF ファイルは既に存在します。" & vbCrLf & "上書きしてよろしいですか?", vbQuestion  
+ vbOKCancel, s_cstTITLE)  
            If iRes <> vbOK Then  
                Exit Sub  
            End If  
        End If  
    End If  
End Sub
```

```

' _____
' FAX 原稿( TIFF ファイル )のクリア

If s_strTIFFFILE <> "" Then
    Kill s_strTIFFFILE
    s_strTIFFFILE = ""
    TextFILE.Text = ""
End If

' _____

' STARFAX Server SDK 印刷初期処理

iRet = False
For Each objPr In Printers
    If objPr.DeviceName = SFCSPRT_PRINTERNAME Then
        Set Printer = objPr
        iRet = True
        Exit For
    End If
Next

If iRet = False Then
    MsgBox "プリンタドライバが見つかりません", vbCritical, s_cstTITLE
    Exit Sub
End If

' //////////////////////////////////////
' // (1) FAX 送信用の TIFF ファイルの作成準備
' //
' // Function SetupPrinter( Folder As String,
' //                          FileName As String ) as Long
' //

iRet = SFCSSendFax1.SetupPrinter (s_strPgmData, strNAMESET)

If iRet <> SFCSPRINTER_SUCCESS Then
    If iRet = SFCSPRINTER_ERR_PARAM_Folder Then
        MsgBox "パラメータエラー: TIFF ファイルを作成するフォルダが指定されていません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If iRet = SFCSPRINTER_ERR_PARAM_NoFolder Then
        MsgBox "パラメータエラー: TIFF ファイルを作成するフォルダが存在しません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If iRet = SFCSPRINTER_ERR_REG_ExecFlag Then
        MsgBox "プリンタドライバ動作設定値(レジストリ)エラー:" & vbCrLf & "このメソッドを正常に動作させるには、プロ

```



```

グラム実行フラグを0にする必要があります。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSPRINTER_ERR_REG_OutFolder Then
        MsgBox "プリンタドライバ動作設定値(レジストリ)エラー:" & vbCrLf & "このメソッドを正常に動作させるには、ファイル出力フォルダを指定する必要があります。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSPRINTER_ERR_REG_NoOutFolder Then
        MsgBox "プリンタドライバ動作設定値(レジストリ)エラー:" & vbCrLf & "ファイル出力フォルダに指定されているフォルダが存在しません。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSPRINTER_ERR_REG_SameOutFolder Then
        MsgBox "プリンタドライバ動作設定値(レジストリ)エラー:" & vbCrLf & "ファイル出力フォルダに指定されているフォルダと" & vbCrLf & "TIFF ファイルを作成するフォルダが同じです。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    If IRet = SFCSPRINTER_ERR_REG_ClsOutFolder Then
        MsgBox "プリンタドライバ動作設定値(レジストリ)エラー:" & vbCrLf & "ファイル出力フォルダ内のクリアに失敗しました。", vbExclamation, s_cstTITLE
    End If
    Exit Sub
End If

```

```
DoEvents
```

```
MousePointer = ccHourglass      ' 砂時計
```

~~~~~

**ここでユーザープログラムからプリンタドライバへの印刷を行います。**

```
' _____
```

```
' サンプル印刷
```

```
Call PROC_SamplePrint(Printer.hdc, TextTEXT.Text)
```

~~~~~

```
MousePointer = ccDefault      ' 標準
```

```
Set objPr = Nothing
```

```
' _____
```

```
' STARFAX Server SDK 印刷: ファイル出力フォルダ内の印刷完了ファイルの取得
```

```

Dim iRetry As Long
Dim strGetFileName As String
Dim bGet As Boolean

MousePointer = ccHourglass      ' 砂時計

bGet = False

For iRetry = 1 To 30

    '////////////////////////////////////
    '// (2) FAX 送信用の TIFF ファイルの作成終了
    '//
    '// Function TerminatePrinter() as String
    '//

    strGetFileName = SFCSSendFax1.TerminatePrinter ()

    If strGetFileName = "NG" Then
        MsgBox "SetupPrinter メソッドが呼ばれていない、または、正常に終了していません。", vbExclamation, s_cstTITLE
        Exit For
    Else
        If strGetFileName <> "" Then

            ' _____
            ' FAX 原稿( TIFF ファイル )の取得
            s_strTIFFFILE = strGetFileName
            TextFILE.Text = s_strTIFFFILE

            bGet = True
            Exit For
        End If
    End If

    Sleep 2000

Next iRetry

MousePointer = ccDefault      ' 標準

If bGet = False Then
    MsgBox "印刷処理が失敗しました", vbCritical, s_cstTITLE
End If

End Sub

```

2.2 TIFF ファイルの作成と F A X 送信 ... (PrtCli2.exe)

2.2.2 印刷結果を表示する

印刷結果(TIFF ファイル)を表示する方法を、印刷結果の F A X 送信プログラム 開発プロジェクトのソースファイルを元にご説明します。

TIFF ファイルの作成と F A X 送信プログラム【PrtCli2.exe】の仕様、および操作方法については、2.2 *TIFF ファイルの作成と F A X 送信* をご覧下さい。

開発プロジェクトは、本 CD-ROM の以下の位置に入っています。

¥サンプル¥VB6 SP6¥PrtCli2¥ ... TIFF ファイルの作成と F A X 送信プログラム 開発プロジェクト

■ 印刷結果を表示する

ビューアプログラム 起動時に、コマンドラインパラメータに表示させたいファイルを” 囲みで指定して起動することにより、印刷結果(TIFF ファイル)を表示することができます。

(起動時のコマンドラインパラメータの詳細は *3.2 ビューアプログラムの仕様* をご覧下さい。)

Form1.frm :

```
'*****  
' [FAX原稿の表示]ボタン: クリック  
'*****  
  
Private Sub CommandVIEW_Click()  
  
    Dim strViewExeName, strViewComand, strViewPath As String  
    Dim strInstall As String  
  
    '/////////////////////////////////////  
    '// ビューア呼び出し  
  
    If s_strTIFFFILE <> "" Then  
        If SFCSEnv1.GetSfcsFolder(strInstall) = SFCSENV_SUCCESS Then  
            strViewExeName = "%SfCsVw.exe"  
            strViewComand = "/T ビューア "  
            strViewPath = Chr$(34) & strInstall & strViewExeName & Chr$(34) & strViewComand & Chr$(34) & s_strTIFFFILE &  
Chr$(34)  
            Call Shell(strViewPath, vbNormalFocus)  
        End If  
    Else  
        MsgBox "[① FAX原稿の作成] を行ってください", vbExclamation, s_cstTITLE  
    End If  
  
End Sub
```

第Ⅲ章

リファレンス

プリンタドライバとビューアプログラムの仕様について解説しています。

- 3.1 プリンタドライバの仕様
- 3.2 ビューアプログラムの仕様

3.1 プリンタドライバの仕様

プリンタドライバの仕様について記述します。

■ プリンタ名

“MEGASOFT STARFAX Engine”

■ レジストリ 【 HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\MEGASOFT\SfCs 】

- “OutFolder” ... 文字列項目: ファイル出力フォルダ
- “DocName” ... 文字列項目: ドキュメント名

ファイル出力フォルダに以下のファイルを出力します。

ドキュメント名+アンダーバー+日付情報 ([ドキュメント名]_YYYYMMDDHHMMSSMMM.tif)

- “ExecFlag” ... DWORD 項目: プログラム実行フラグ
- “ExecPath” ... 文字列項目: 実行プログラム フルパス
- “ExecParam” ... 文字列項目: 追加コマンドラインパラメータ

プログラム実行フラグ が 1 の場合、印刷終了後に**実行プログラム フルパス** で指定されたプログラムを起動します。

コマンドラインパラメータに **印刷結果(TIFF)ファイルのフルパス** が “ 囲み ” で設定されます。

追加コマンドラインパラメータ に指定があれば、プログラムを呼び出すときに

印刷結果(TIFF)ファイル のフルパス だけでなく、**追加コマンドラインパラメータ**も

コマンドラインパラメータ に設定されます。

■ 印刷結果(TIFF ファイル) のファイル形式

拡張子 : TIF

ファイル形式: TIFF 形式 モノクロ PackBits 圧縮

3.2 ビューアプログラムの仕様

ビューアプログラムの仕様について記述します。

■ 起動時のコマンドラインパラメータ

- “???” ... 表示するファイル を指定します。
- /T??? ... プログラムのキャプションを指定します。

例: C:\Program Files\SfCs\SfCsVw.exe “D:\Data\Test.TIF” /T テストデータの表示

■ 表示できるファイル形式

- **T I F F形式** 圧縮なし
修正CCITT MH 圧縮
CCITT G3 MH 圧縮
CCITT G3 MR 圧縮
PackBits 圧縮
Class F 圧縮
G4 圧縮
JPEG圧縮
- **BMPファイル**
- **PCXファイル**
- **DCXファイル**
- **JPEGファイル**
- **テキストファイル**
- **FAXファイル** DOS版STARFAXで扱われているファイル形式です。
- **LNKファイル** STARFAXで扱われているファイル形式です。